

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成30年 4 月 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ トミヤマカックレンゴウチョウナイカイ
団体名 富山学区連合町内会

所在地

連絡先

フリガナ
代表者役職・氏名 会長 笠原一郎

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	地域の防災力の向上
事業実施区域 (小学校区)	富山小学校区
① 事業 実施 内容	<p>1、町内会・自主防災会を中心として地域に合った防災講習を実施した。地域の防災力の向上に向け、下期6町内会5月～9月に4町内会合わせて10町内会で実施。連合町内会からは役員が出向き、防災グッズの展示・説明を行った。</p> <p>2、小中学校生を中心とした防災講習・防災訓練を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キッズ防災教室の実施 小学校高学年を対象とし公民館と協力して1月6日に実施・4月3日に予定 ・富山中学校での防災講習・避難訓練に参画協力して実施した。 ・「とみやまジュニア防災講習」12月9日に、1・2年60名が参加。連合町内会としては、非常持出品、家具転倒防止器具、火災警報器、防災マップの展示ブースを設置説明を行った。 ・全校生徒を対象に避難訓練、新聞紙食器での給食体験を実施 <p>3、防災パンフレットを作成し、全町民に配布し、防災意識の向上・防災の備え等についての啓蒙を図った。</p> <p>4、防災グッズの全町民への備え付け勧奨とあわせ、購入斡旋を行い、注文品の配布を行った。</p> <p>5、防災に関するアンケートを実施した。1回目は12月に回収、2回目は4月に回収予定。実態の把握と今後の防災事業の進め方の参考としたい。</p> <p>6、中学校に依頼し防災標語を募集。215作品の応募があり、最優秀1、優秀10、佳作13作品を選んだ。最優秀標語を印刷した学区独自の非常持出袋を作成する計画であったが、注文数が68個で不足し非常持出袋の作成はできなかった。代替策として、最優秀作を連合町内会が作成する文書・パンフレット等に掲載するとともに、公民館の「とみやまだより」にも掲載し、中学生の協力にのけるとともに、広く学区民へのアピールとしたい。</p> <p>7、学区全体での防災訓練を2月に実施し、広く防災意識の向上・防災力の向上を図った。</p>

<p>② 解決を目指した課題</p>	<p>前年度「防災マップ」の作成により、学区全体の状況の把握と対応力の向上を図ることを目指し、大きな成果を得たが、当学区の地理的条件を見ると、操山周辺と埋立地である平坦地では、異なった対応が必要であり、一律的な対応では不十分なことから、各町内会毎にその地域に合った防災対策・防災意識の向上徹底を目指し、町内会毎の防災講習・訓練の実施を重要課題とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連合町内会としては、十分な指導力を発揮し、各町内会が主体的に取り組み、成果を上げられるよう指導・協力をした。 ・ 各家庭における防災グッズの備え付けの状況を把握し、全家庭で前向きに取り組む状態を作り出したい。 ・ 特に、火災警報器、家具転倒防止器具、非常持出袋の設置については、長期的な取り組みにより、全戸設置を目標としたい。
<p>③ 目的・目標の達成状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会ごとのその地に合った防災対策・防災意識の向上を目的に各町内会毎の防災講習の実施を推進したが、実施は10町内会と約2分の1に留まった。30年度中には全町内会・自主防災会での実施を目指したい。 内容的には、審査会からのご指摘にあるように実技的な防災訓練を充実させていきたい。 ・ 小中学生を中心とした防災講習・防災訓練については、学校側の理解協力が大きく、大きな成果をあげられた。防災講習では、中学校は部活を行っている1・2年生を中心に動員を図り、休日にも拘わらず60名参加した。また防災訓練では、全校生徒を対象に行った。今後も、学校側と緊密な意思疎通を図り、小中学生の防災への取り組みを強化していきたい。 ・ 小学生を対象とした「キッズ防災教室」は参加人数が3名と少なかったが、参加者とは良い内容で開催でき、小学生に対するいいアプローチができた、引き続き公民館と協力し、取り組んで行きたい。 ・ 防災意識の向上・防災力の向上を図ることについては、 <ol style="list-style-type: none"> ① 学区民へのアンケートの実施による実態の把握と今後の目指す方向の確認を行なった。アンケートは723世帯で実施。結果は、非常持出品準備率は30.2%、火災警報器設置率は67.4%であった。(分析表添付) さらに4月の2回目の実施により前回との比較を行い、改善傾向があるのか検証し、今後の取り組みへの参考としたい。 ② 防災グッズの全町民への購入斡旋・購入勧奨を行った。購入は83世帯に留まり、未準備世帯のわずか2.3%と期待ほどではなかったが、町民への防災意識付けには効果があったものと思う。 ③ 防災パンフレットを作成し、全戸への配布を行い、防災意識の向上を図った。 南海トラフ地震の危機意識を高め、それに備える必要を訴えた配布物である。 ④ 中学校生から標語を募集し、215作品の応募を得た。その中の最優秀作を非常持出袋に印刷し、富山学区独自のものを作る予定にしていたが、数量的に目標数に到達せず、作成は断念した。しかしながら折角の中学生の熱意を無駄にするのは勿体ないことから、今後連合町内会の発行する文書・パンフレット等に標語を記載することにより活用することとした。 ⑤ 高齢者・障がい者に対する対応については、不十分であった。今後の課題としたい。 ・ 防災に関しては、短期的な対応では十分な成果は得られないと思うことから、3～5年の長期計画を立て、地道に実行することが今後の課題と考えている。

<p>④ 企画等の工夫と情報公開</p>	<p>・前年度作成の「防災マップ」の作成配布により、学区全体の防災意識・防災力の向上は大きく図れたと思うが、29年度はさらにきめ細かく各町内会毎で町民への働きかけを強めることを重点として取り組んできた。</p> <p>具体的には</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 町内会毎の防災講習を実施することで、地域により密着した対応力・意識向上を図った。特に各町内会毎に実施することにより、参加者の増を図り、より多くの町民への防災意識付けを図ることが出来たものと思う。 ② 町内毎の防災講習に際し、連合町内会から防災グッズの展示・説明を行い、配備の促進をお願いするとともに、連合町内会の強い取り組み姿勢を示した。 ③ 防災パンフレットを作成し、広く全町民には配布することにより、防災グッズの配備、防災に対する取り組みの強化を求めた。 ④ アンケートの実施により、現状の把握と今後の取り組みの方向性を確認することに努めた。 ⑤ 防災グッズの全戸への購入を斡旋することにより、配備を促進し、全戸での配備・設置を訴えた。 ⑥ 小学生に対する「キッズ防災教室」、中学校への防災標語の募集を通し、小中学生の防災意識の向上を図った。 中学生の防災標語は215の応募があり、十分に防災意識の向上に役立った。今回防災袋の作成はできなかったが、今後連合町内会の文書・パンフレット等に標語を掲載することとした。掲載することで中学校への防災意識の醸成の応援になると思う他、学区全体の防災意識の向上にも役立つと思う。 ⑦ 情報公開としては、公民館の発行する「公民館だより」電子町内会を通して広く町民への情報伝達を図っている。連合町内会としては、町内会長を通しての町民への情報公開の他、各種団体を通しての情報公開にも注力したい。
<p>⑤ 次年度計画</p>	<p>・28年度は「防災マップ」の作成を通して学区全体の防災意識の向上・防災力の向上に取り組む、29年度は「地域の防災力の向上」ということで、各町内会を中心とした地域に合った防災力の向上・防災意識の向上に取り組んだが、まだまだ充分とは言えない状況である。</p> <p>・30年度は、29年度の「地域の防災力の向上」「防災意識の向上」という目標を引き継ぎ、さらに発展させていきたい。</p> <p>・具体的には、全町内会・自主防災会での防災講習会の開催、実技的な防災訓練の実施、火災警報器の全戸設置、防災グッズの各家庭に合った装備、等に重点的に取り組みたい。その為には、連合町内会の強いリーダーシップの発揮と各町内会・公民館・電子町内会・小中学校・各種団体等との協力体制の確立が欠かせない。</p> <p>・特に、小中学校との協力による小中学生の災害への取り組み強化、高齢者・障がい者への取り組みを進めたい。</p>

⑥ 事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善

- ・「地域の防災力の向上」の中心課題としての各単位町内会毎の防災講習会・防災訓練の。実施については、半数の町内会で実施し、地域に合った防災力・防災意識の向上には大いに役立ったものと評価できる。ただ半数の町内会・自主防災会で実施できておらず、次年度での完全実施が命題として残った。各町内会での防災講習会を通して町内会長自身さらに町民個々にも防災意識の向上・防災力の向上が一層図られたものと思う。
- ・防災グッズの町内会講習会での展示、説明、公民館での展示、全町民への購入斡旋により、防災グッズへの意識が高まった。火災警報器の設置状況はまだまだ不十分であり、今後全世帯での設置を目指したい。
- ・防災パンフレットの全戸配布を実現したことは、防災マップの活用と合わせ、学区全体の防災意識の向上・防災力の向上につなげる一助となった。
- ・中学校への防災講習・防災訓練に学区連合町内会として参加し、学校との協力体制ができたことは、今後の取り組みに期待が持てる状況になったと評価できる。
- ・中学校への防災標語の募集依頼に対し、215 作品の応募があったことは、中学校での防災意識の向上を示すものと思われ、連合町内会としては、この芽をさらに伸ばし定着させることが重要になっている。標語の活用も大切にしたい。
- ・小学生については、「キッズ防災教室」を公民館と協働で開催し、それなりの成果を得たが、参加人数が予定を下回り今後課題を残した。今年度の活動に生かしていきたい。

- 区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容
- ・単位町内会での講習会、訓練、キッズ防災訓練教室の開催など、防災意識の向上を図っていることを評価するが、一方で高齢者・障がい者への対策・対応も確認検討できればさらに良いのではないか。
 - ・過去定期的に大地震が発生しており、この地域は、被害が大きかったことから、地震に対する対応の重要性を認識し、地域の記憶を語り継ぐことが大切
 - ・取り組んだ内容についての検証を行うことが大切、アンケート等で定性的な評価が望ましい
 - ・全体として展示型と図上型訓練が多いことから、実技型の訓練を増やしてほしい
 - ・事業は、単位町内会で行い、連合町内会支援する立場であり、連合町内会はかなりの労力を必要とすると思われるが、3～5年後の成果を期待したい
 - ・地域活動の成功事例として期待したい

助言等の内容について、改善ができましたか。

- I できた
- II おおむねできた
- III 一部できなかった
- IV まったくできなかった
- V 改善意見がなかった

右記の I～V の該当部分に○を付けてください。なお、IVを選ばれたときは、その理由を下記（ ）内へ記入して下さい。

(理由：)

⑧事業実施経過

年 月 日	内 容
29年 9月8日	連合町内会役員会、区づくり事業の勧め方検討、参加6名
9月22日	第1回実行委員会、事業の詳細と活動の説明、26名
10月1日	湊池の内町内会防災講習会、26名
10月14日	連合町内会役員会、防災講習会予定と防災パンフPT結成、6名
10月21日	学区主要役職者会議、2月予定学区防災訓練打合せ、22名
10月21日	防災パンフレット作成PT会議、主旨・掲載内容・案作成担当、6名
10月23日	富山幼稚園保護者防災講習会、見本展示も、60名
11月4日	町内会長会議、防災講習会・防災グッズアンケート打合せ、19名
11月4日	防災パンフレットPT会議、防災パンフ1次案検討、5名
11月25日	防災訓練打合せ会議、9名
11月25日	連合町内会役員会、進捗チェック、5名
11月26日	円山宮西町内会・防災講習会、36名
11月30日	防災パンフレットPT会議、防災パンフ2次案検討、5名
12月2日	山崎本町町内会・防災講習会、40名
12月3日	福泊町内会・防災講習会、60名
12月9日	中学校ジュニア防災講座、防災グッズとマップをブース展示説明、60名
12月14日	防災標語募集を中学校長に依頼、1/9回収で合意
30年 1月6日	キッズ防災教室、4～6年生対象で実施、3名
1月10日～11日	中学校避難訓練、新聞紙で非常食など、連町より3名
1月21日	連合町内会役員会、実行委員会の事前打合せ、4名
1月30日	第2回実行委員会、防災パンフとグッズ注文書配布説明、2/18学区 防災訓練説明、25名
2月4日	2/18学区防災訓練最終打合せ、22名
2月18日	学区防災訓練、296名
2月18日	海吉本村町内会・防災講習会、42名
3月3日	連合町内会役員会、実行委員会打合せ事前打合せ、5名
3月10日	第3回実行委員会、防災グッズ注文書回収、第1回アンケート集計 結果説明
3月11日	円山境内町内会・防災講習会、17名

町内会別防災講習会の開催数と参加者数は次の通り。

開催数： 10 町内会にて開催

参加者数： 合計 301 名

内容 講演 岡山市危機管理室 高坂課長補佐
「南海トラフ地震の危機管理意識を高める」
中山地域担当職員（富山公民館）
「非常食の実演・試食」
行枝富山学区会計部長
「防災グッズの説明と備付けの促進」

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	92,500	91,700	
負担金	92,500	91,810	
参加費			
寄付、他収入			
計	185,000	183,510	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必 ず 記 載 し て く だ さ い)
① 消耗品費	10,200	11,663	A4・A3 用紙各 1,500 枚、 長4封筒 100 枚、プリンタ インク黒、修了証用紙、防 災グッズ袋、紙コップ
② 食糧費	56,800	25,359	各町内会防災講習会打 合せ、実行委員会の飲料 代
③ 印刷製本費	40,000	61,060	防災パンフレット A3 表裏 カラー、グッズ注文書 A4 裏カラー各 5,500 枚製 作、各種資料コピー
⑥ 通信運搬費	0	248	はがき 4 枚
⑧ 手数料	0	540	振込手数料
⑩ その他	78,000	84,640	サンプル 4 セット購入代 (非常持出品と袋、家具転 倒防止器具、火災警報 器)・1セット 19,795 円、紙 袋、中学生防災標語優秀 賞図書券500円×12枚
計	185,000	183,510	